



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和6年7月22日 第5号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : kanai-es@sado.ed.jp

佐渡の海

校長 藤井 衛

今年も、5年生と一緒に「潮津の里」での宿泊体験に行って来ました。真野海岸では高速で走るジェットスキーに引かれたバナナボートに乗る体験がありました。毎年大人気のアトラクションです。「キャーキャー」と歓声とも悲鳴とも聞こえる声を発しながら、振り落とされないように必死にしがみつく様子を見ることができました。体験を待っている間は、遠浅の海岸で海遊びを楽しみました。潮風を受けながら、海遊びができるのは佐渡の子どもの特権です。

私が子どものころは、夏休みになると、半分以上は海で過ごしていました。漁師をしている家に友だちがいました。だから、サザエやアワビをとることができました。モリを使って魚をとることを教えてもらいました。海岸で火を燃やし、貝や魚を焼いて食べました。

8月も後半になると、クラゲが発生して海に入れなくなります。そうすると、今度は魚釣りです。私が育った佐渡の南部には、アブラメという魚を釣る風習がありました。その魚を焼き干しにして、大みそかに食べる「煮しめ」の出汁にするのです。最近では、海水温の変化でしょうか、アブラメが釣れなくなったそうです。

今どきの子どもたちはというと、海水浴や釣りを楽しむ姿を見ることが少なくなりました。異常気象による高温の影響で、長時間、野外で活動することが難しくなったからです。エアコンのきいた部屋でゲームやYouTubeばかりという子どもが増えています。健康面でも心配しています。海に囲まれた佐渡で生まれた子どもたちです。野外や海での遊びを楽しんで、健康的に夏を過ごしてもらいたいものです。

